骨子案の素案完成後の市民の意見聴取について

【目的】

2月15日に公表する条例骨子案の素案について、市民からご意見をいただく。

【手法】

無作為抽出ワークショップ、意見交換会及びパブリック・コメント

無作為抽出ワークショップ

【開催日時及び場所】

- 3/3 (土) 及び 3/10 (土) の 2 日間 午後 1 時~ 4 時 45 分/商工会館ゼロワンホール (仮予約済) ※実施までの大まかなスケジュール
- 1月中旬 抽出者宛に案内通知発送(1月末承諾書回答締切)
- 2月上旬 承諾いただいた方宛に参加決定通知を発送
- 2月15日 骨子案公表(市報には概要を載せた上で、HPに全文掲載及び市内各施設で冊子配布) 参加者には、開催日までの間に全文資料を事前送付

【内容(当日の流れ)】

1 日目 (3/3)		2 日目 (3/10)	
タイトル	内容	タイトル	内容
導入	・総論(自治基本条例の必要性	テーマ②情報公	・レクチャー
	等) についてのレクチャー	開・市民参加につ	グループ討議
	・自己紹介も兼ねてグループで	いて	
	総論について討議		
テーマ①行政	・レクチャー	テーマ③住民投	・レクチャー(常設型の住民投
と議会と市民	グループ討議	票について	票条例について)
それぞれの役			グループ討議
割について			
まとめ	グループで話し合った内容の	まとめ	・グループで話し合った内容の
	まとめ (模造紙を使用)		まとめ (模造紙を使用)
	グループごとに発表		グループごとに発表

【その他】

- ・当日 60 名程度の参加を想定(6 名×10 グループ)
- ・グループ討議前のレクチャーについては、具体的な現状の取り組みなどを資料に列挙した上で、懇談会での議論及び骨子案の内容について事務局から説明し、それに対する市民の意見を募る)
- ・いずれもレクチャーは各20分程度、グループでの話し合いは各60分程度、発表は30分程度
- ・2日間のうち、1日目に総論の話をするので、基本的には2日間とも参加できる方を対象とする。
- ・各年代の抽出人数については要調整(若い世代の参加を促すために、30代以下の抽出数を増やすなど)

意見交換会

【開催日時及び場所】

2月の土日の日中又は平日の夜間(1回想定。2時間程度)

【内容(当日の流れ)】

- ・骨子案についての説明
- ・意見がある方は挙手していただき、座長が指名ののち、ご発言いただく。なお、時間制限を設ける、 同じ方の発言については、他の方の発言がひととおり終わった後にするなど、なるべく多くの方に 発言頂けるよう配慮する。
- ・市民からのご質問については、座長を中心に委員の皆様にご回答いただく。また、市民からのご意 見についても委員の皆様にコメントを頂くなど、活発な意見交換を図る。

【その他】

・長期計画策定における策定委員会と同様、意見交換会については都合のつく限り委員の皆様にはご 出席をお願いしたい。